

「海ごみ」から美しく豊かな瀬戸内海を取り戻すために

『うみ・まち・やま』シンポジウム 高梁川がむすぶ



<趣 旨>

中国、四国、近畿及び九州に囲まれた瀬戸内海は、その大半が国立公園に指定されており、日本有数の多島海の美しさから毎年多くの観光客が訪れています。また、瀬戸内海は多くの優良な漁場に恵まれ、その海産物は全国各地に出荷されています。

しかし、近年、海岸周辺への廃棄物の不法投棄のほか、瀬戸内海海域への生活ごみ等の投棄により、漁業操業への被害が顕在化するとともに、海域内の生態系への影響や海産物の安全性への懸念が生じています。

そこで、環境省中国四国地方環境事務所は、これまで行ってきた調査・検討結果や海ごみ回収の先進的事例を発表するとともに、海・町・山に関わってこられた方々と参加者を交えて意見交換を行い、自然の営みと海ごみについて考えるシンポジウムを開催します。

平成
20年 **12月21日** ①

13:00~16:30 (開場:12:30)

倉敷市玉島公民館大ホール

(岡山県倉敷市玉島阿賀崎1-10-5)

◇参加費：無 料

◇定 員：300名

(先着順。裏面の申込要領をご覧ください)

● プログラム

1. 報告会

- ・環境省が実施した瀬戸内海の海底ごみ調査の結果発表
- ・先進的事例(尾道市の取組)の紹介

2. 基調講演 『故郷の海を想って』

講演者：東 ちづる

3. パネルディスカッション

- コーディネーター：田中 勝(鳥取環境大学教授(岡山大学名誉教授))
パネラー：伊東 香織(倉敷市長)
：近藤 隆則(高梁市長)
：磯部 作(日本福祉大学子ども発達学部教授)
：柳 哲雄(九州大学応用力学研究所所長)
：本岡 和士(日生町漁業協同組合代表理事組合長)

《展示コーナー》

海ごみアート・瀬戸内海にすむ生き物など

主 催 ● 環境省中国四国地方環境事務所

後 援 ● 岡山県、岡山県教育委員会、倉敷市、倉敷市教育委員会、高梁市、(社)瀬戸内海環境保全協会

基調講演講演者プロフィール● 東 ちづる

1960年 広島県因島市（現尾道市）出身。

ドラマから司会、CM、講演、ラジオ、エッセイ執筆など幅広く活躍。

現在は、里海創生支援有識者会議の委員として、瀬戸内海を里海として再生するために活動中。

— 会場へのアクセス —

会場へは公共交通機関をご利用ください。

(駐車場は台数に限りがございます)

【交通機関】

JR新倉敷駅から両備バス・井笠バス玉島中央町行きバス乗車、

「玉島文化センター入り口」バス停下車、徒歩3分。同駅から徒歩25分。

